

2007年度 決算説明会

第84期(2007年4月1日～2008年3月31日)

2008.05.13



太平洋互業株式会社

目次

1. 会社の概要
2. 連結決算の状況
3. 個別決算の状況
4. 中・長期経営計画

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 当社の概要

- ◆創業 1930年8月
- ◆代表者 社長 小川信也
- ◆資本金 43億2千万円
- ◆株式 東証・名証一部上場('70年8月)(証券コード 7250)

セグメント		プレス樹脂製品 事業	バルブ製品事業			情報 サービス	合計
事業			タイヤバルブ事業	制御機器事業	TPMS事業		
			P	V	C		
単 独	売上高('07)	458億円 65%	57億円 8%	57億円 8%	131億円 19%	—	703億円
	人 員	1,050人	480人			—	1,650人
	主要工場	西大垣、東大垣 養老、九州	美濃、北大垣	北大垣	北大垣	—	国内6工場
連 結	売上高('07)	630億円 70%	260億円 29%			7億円 1%	898億円
	人 員	1,970人	830人			90人	3,000人
	海外生産拠点	台湾、米国 中国	台湾、韓国 タイ	中国、韓国	—	—	5ヶ国7社 (非連結2社)
主要顧客		トヨタ、ダイハツ、日野 三菱、ホンダ、スズキ デンソー、豊田自動織機 松下電器	ブリヂストン、横浜ゴム 住友ゴム、東洋ゴム 韓国タイヤ、正新、 ミシュランタイヤ	デンソー、豊田自動織機 三菱電機、松下電器 東芝、シャープ、ダイワ精工 LG電子、海爾	トヨタ、ホンダ 日産	太平洋工業 地域企業	
主要製品		プレス加工 樹脂加工、金型	タイヤバルブ バルブコア	空調用制御弁	TPMS	ゴルフ場 人材派遣 ソフトウェア	

1-2 企業結合の状況

1. 連結会社: 11社

■ プレス樹脂製品事業 ■ バルブ製品事業

区分	会 社 名	事業分野				主な事業内容	設立	議決権 比率	'07 売上高	人員	
		P	V	C	情報・ サービス						
国内	ピーアイシステム株式会社 (PSC)				●	情報処理、ソフト開発・販売	1987年	100%	6億円	56人	
	太平洋開発株式会社 (PDC)				●	ゴルフ場資産管理(養老CC)	1972年	66.1%	3億円	27人	
	太養興産株式会社 (TYC)				●	ゴルフ場運営(養老CC)	2005年	(PDC) 100%	—	—	
	太平洋産業株式会社 (TSC)				●	SS経営、保険代理業務、 人材派遣業	1974年	98.7%	12億円	10人	
	国内連結会社 計								21億円	93人	
海外	米国	Pacific Industries USA Inc. (PIU)	(持株会社)				下記米国会社の統括管理	1988年	100%	—	—
		Pacific Manufacturing Ohio Inc. (PMO)	●	●	●		自動車用プレス製品・バルブ関連 製品の製造・販売	1999年	(PIU) 100%	216億円	499人
	台湾	太平洋汽門工業股份有限公司 (PVT)	●	●	●		自動車用プレス製品・バルブ関連 製品の製造・販売	1984年	99.2%	43億円	236人
	韓国	太平洋バルブ工業株式会社 (PVI)		●	●		バルブ関連製品の製造・販売	1987年	99.5%	14億円	83人
		太平洋エアーコントロール工業株式会社 (PAC)			●		カーエアコン部品の製造	2004年	(PVI 40%) 60%	(非連結)	13人
	タイ	Pacific Industries(Thailand) Co.,Ltd. (PIT)		●			バルブ関連製品の製造・販売	1989年	75%	13億円	102人
	中国	青島太平洋宏豊精密機器有限公司 (QPH)			●		空調用バルブ関連製品の 製造・販売	2000年	55%	8億円	146人
		天津太平洋汽車部件有限公司 (TPA)	●				自動車用プレス製品の 製造・販売	2005年	100%	10億円	214人
	海外連結会社 計								308億円	1,293人	

2. 持分法適用会社: 2社

国内	太平洋精工株式会社 (PEC)	●		●		オートフューズ・電気小物製品の製造・販売	1961年	20%	128億円	277人
海外(米国)	Takumi Stamping Inc. (TSI)	●				自動車用小物プレス製品の製造・販売	2001年	48%	45億円	314人

1-3 企業理念・経営理念

企業理念

わが社はメーカーとして、

1. 技術開発に努め、お客様の要望に応えた高いレベルの商品を提供していきます。

→

品質理念

2. 人間尊重を基本に、社員が“働く楽しみ”、“造る満足”を得る“場”を提供していきます。

3. 地球環境保全に努め、社会から期待される“良い会社”でありつづけます。

→

環境理念

経営理念

オープンでクリエイティブな経営
e-companyの実現

engineering	: 技術を売り物に
ecology	: 環境に配慮し
e-business	: eビジネス
emotional	: 活力に溢れ
efficiency	: 効率的に仕事をし
enrich	: 収益を確保しながら
enjoy	: 豊かな生活を楽しむ

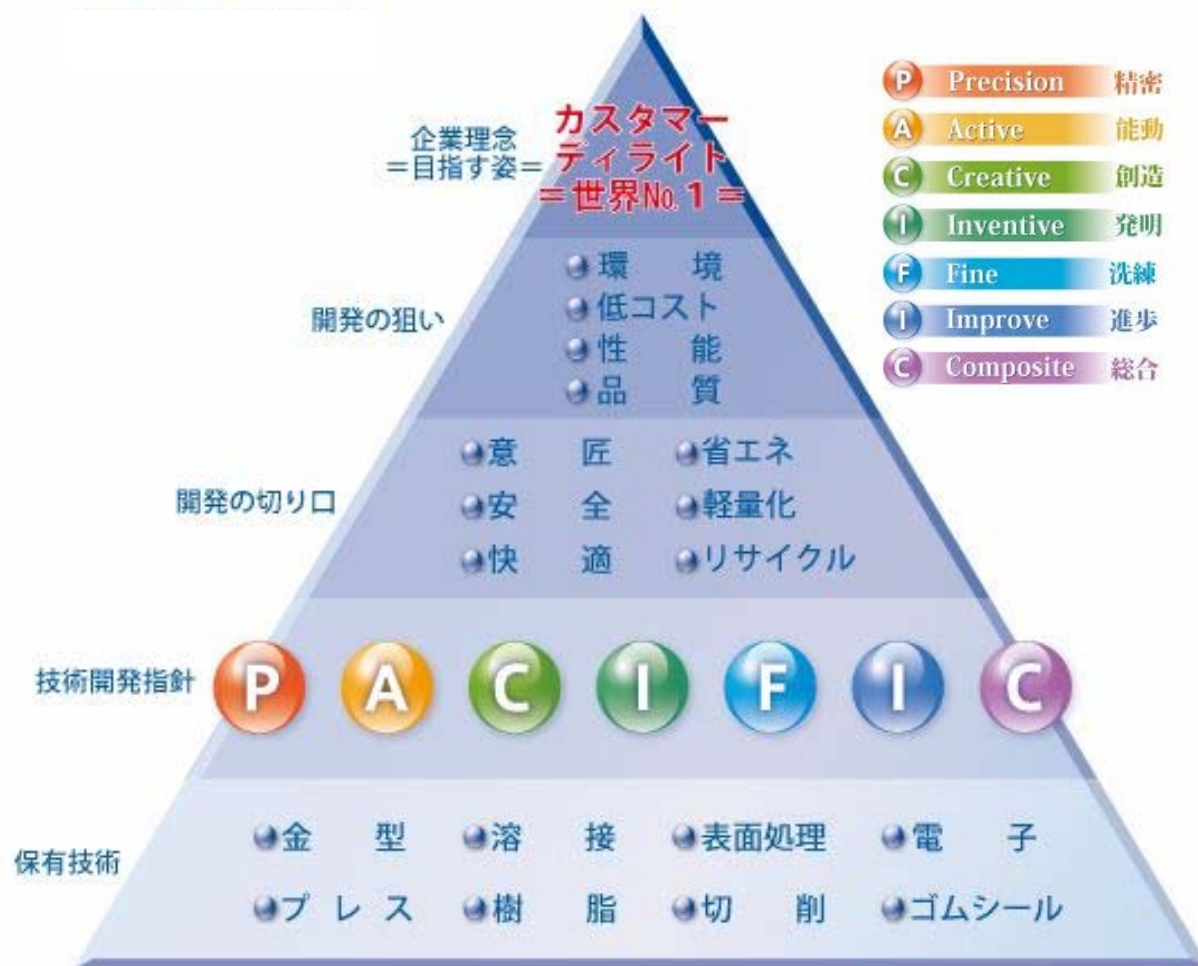
1-4 技術開発・ものづくりの理念

技術開発

カスタマーデライトを理念に、
技術開発指針を策定

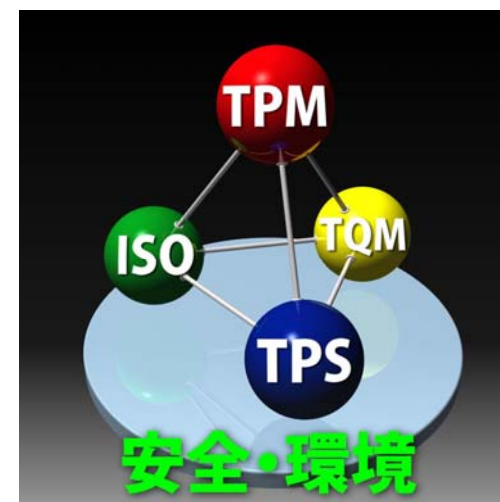
ものづくり

“ものづくり”は“人づくり”を理念に
技術と技能の両輪でものづくりを行う



四位一体のものづくり

一人一人の総合力アップ



TPS : 人・仕組みの効率
TPM : 設備の効率
TQM : 品質・管理の効率
ISO : 情報の効率

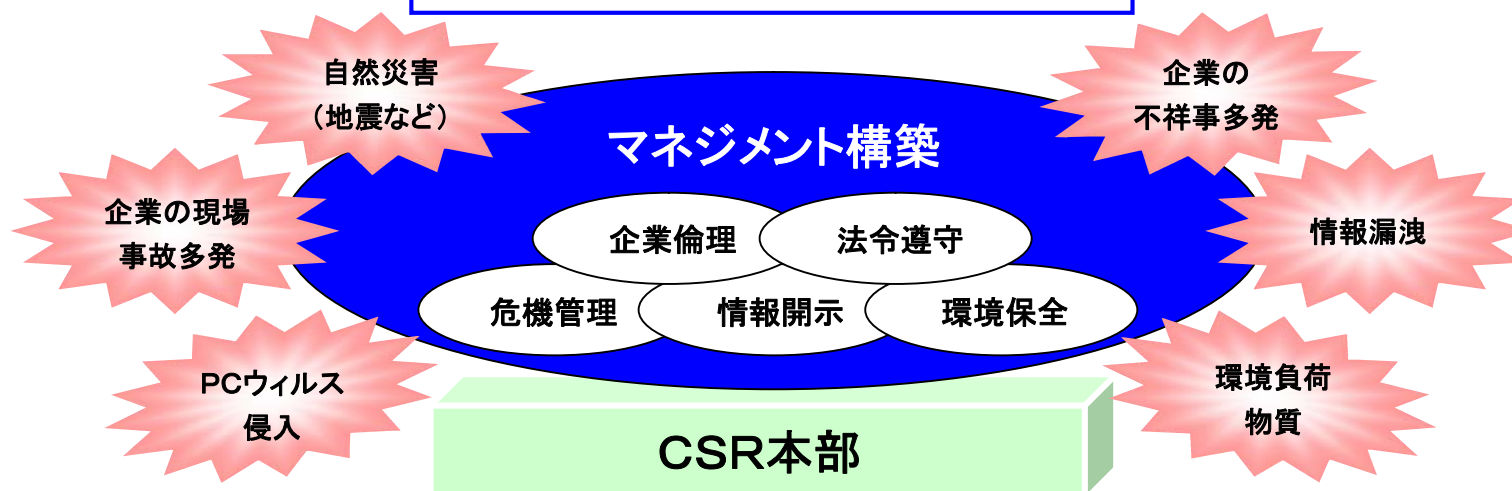
1-5 CSR(企業の社会的責任)・内部統制

事業目標の達成

企業の成長には、
両者の達成が必要

企業の社会的責任
(CSR)

企業経営に社会的な公正性、
環境への配慮を取り込む



会社法による内部統制システムの基本方針制定

J-SOX内部統制システムの構築

コンプライアンス・リスクマネジメント体制の構築

2-1 決算サマリー

		利益率	前期比
■ 連結売上高:	898億円		(8.7%増)
■ 連結営業利益:	36億円	4.1%	(6.7%減)
■ 連結経常利益:	39億円	4.4%	(11.1%減)
■ 連結当期純利益:	23億円	2.6%	(25.7%減)

●売上高

プレス・樹脂事業は主要顧客の自動車生産台数の増加、バルブ製品事業はTPMSの搭載車種の拡大により増収、過去最高

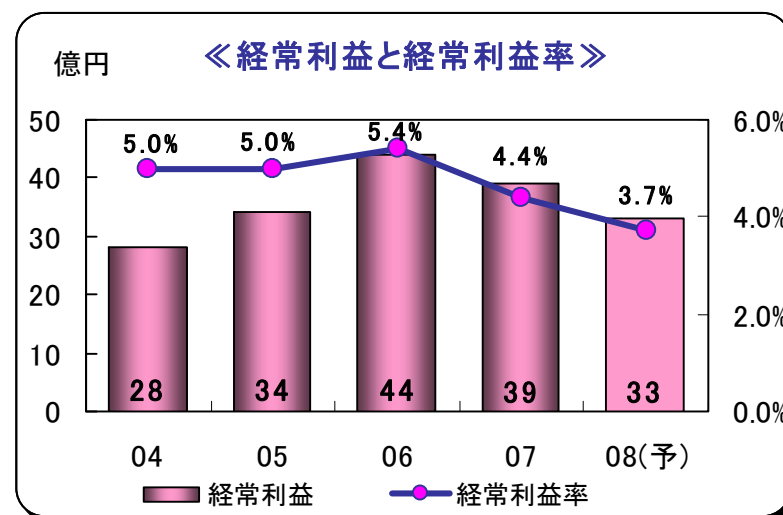
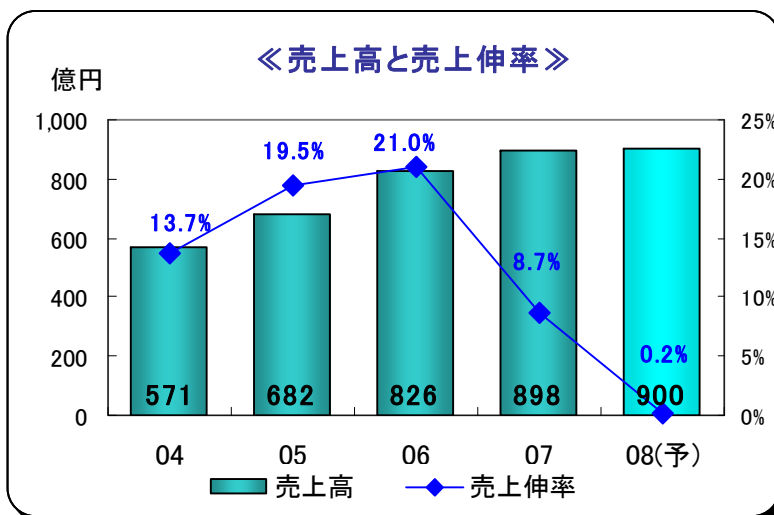
●経常利益

海外子会社は好調であったものの、当社において、減価償却費の増加、急激な円高による為替差損により減益

2-2 連結業績実績と予想

* 過去最高値

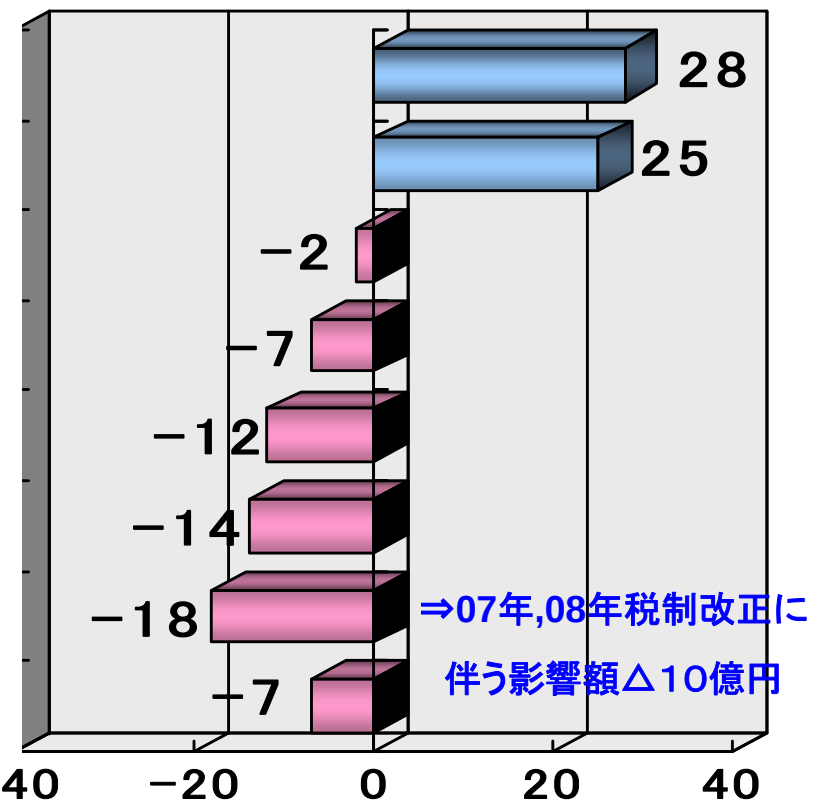
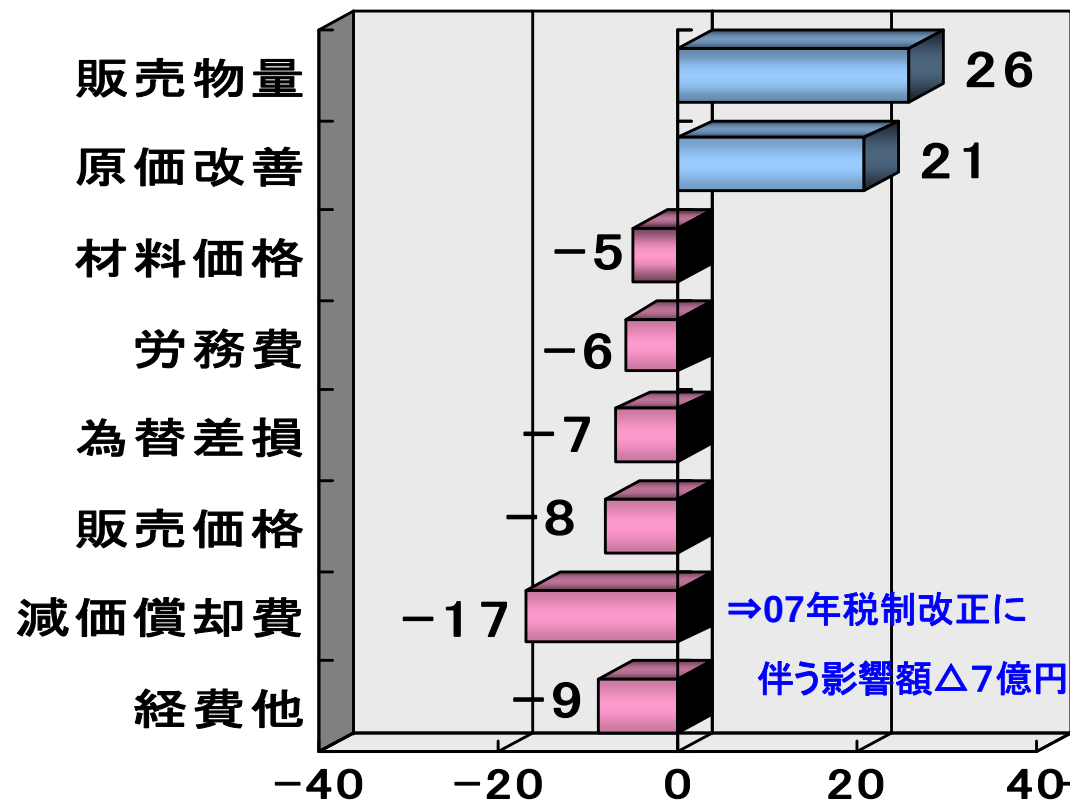
	'06年度	'07年度						'08年度			
		08年2月 発表値	実績	前期比		連単 倍率	予想	前期比		連単 倍率	
				増減	増減率			増減	増減率		
売上高	* 82,641	89,500	* 89,862	7,221	+8.7	1.3	* 90,000	138	+0.2	1.3	
営業利益	* 3,902	3,100	3,640	△261	△6.7	1.9	2,800	△840	△23.1	3.5	
経常利益	* 4,475	3,500	3,976	△498	△11.1	1.6	3,300	△676	△17.0	2.2	
当期純利益	3,144	2,250	2,335	△809	△25.7	1.7	2,000	△335	△14.3	2.5	
売上利益率	5.4%	3.9%	4.4%	△1.0%			3.7%	△0.7%			
ROE	7.6%	5.2%	5.6%	△2.0%			4.9%	△0.7%			
ROA	4.8%	3.5%	4.0%	△0.8%			3.2%	△0.8%			
一株当たり純資産(円)	806	807	757	△49	△6.1		784	27	+3.6		



2-3 連結経常利益増減要因

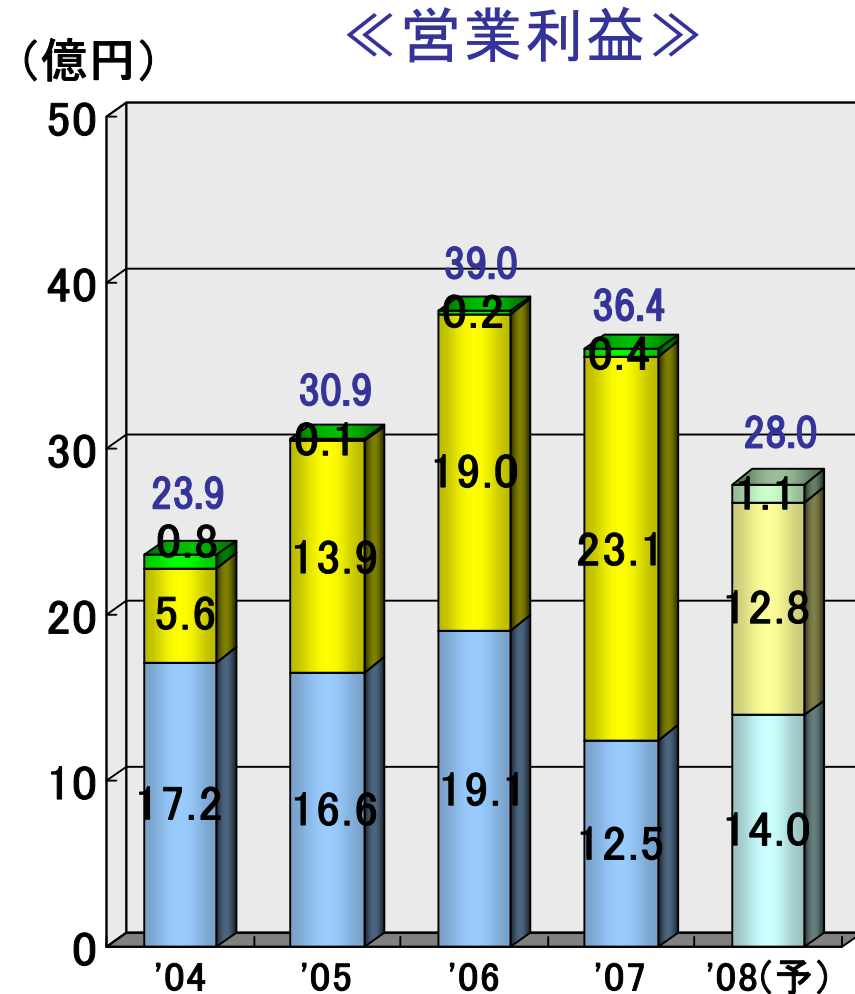
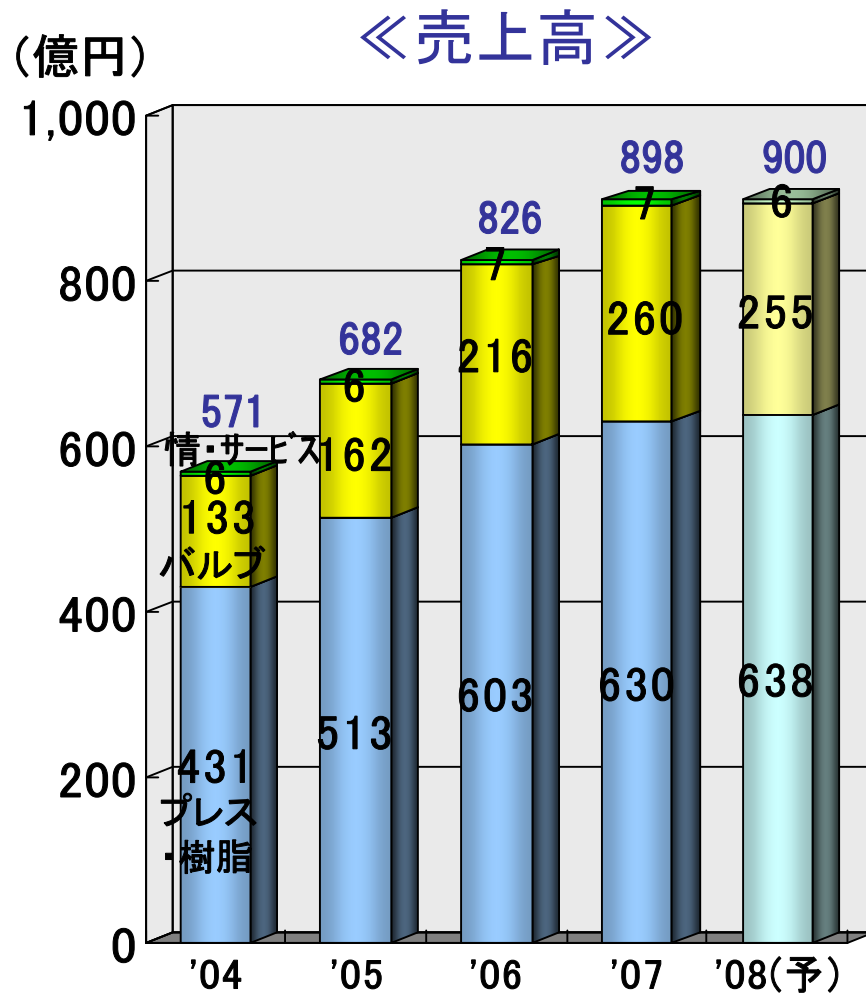
《07年度 対 06年度》
経常利益 $\Delta 5$ 億円

《08年度予想 対 07年度》
経常利益 $\Delta 7$ 億円



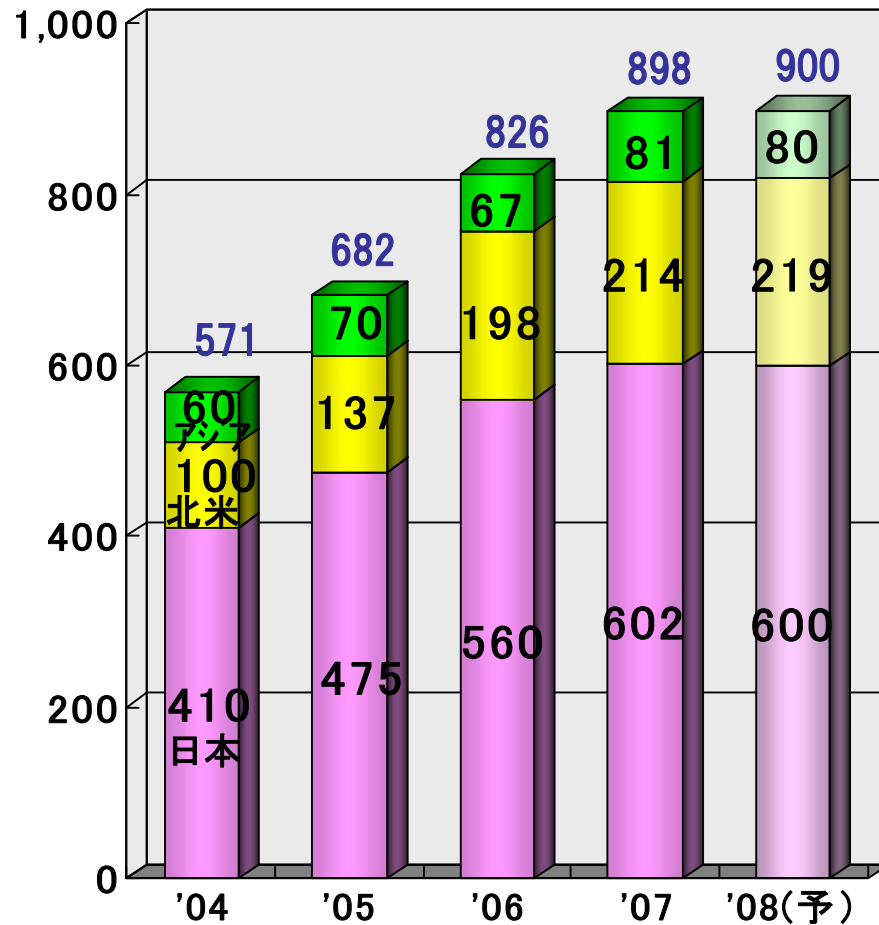
(億円)

2-4 連結事業別セグメント

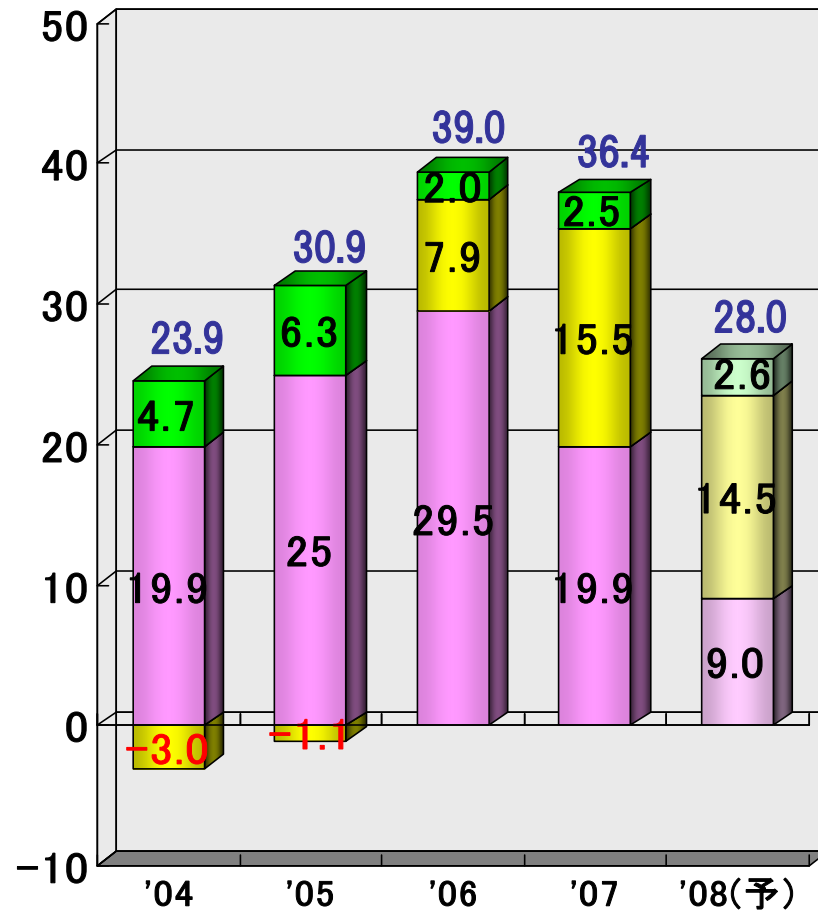


2-5 連結地域別セグメント

(億円) 《売上高》

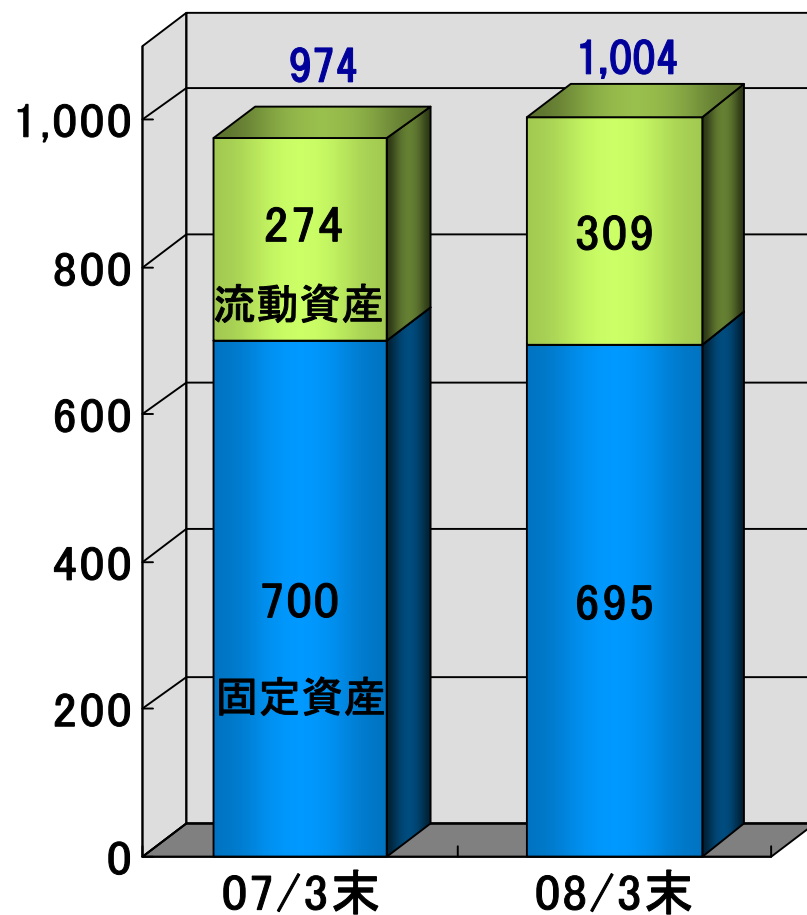


(億円) 《営業利益》



2-6 連結総資産 増減内訳

(億円)



■ **流動資産** + 34 億円

・ 現金・預金 + 21

・ たな卸資産 + 19

・ その他 6

■ **固定資産** 4 億円

・ 有形固定資産 + 56

・ 無形固定資産 1

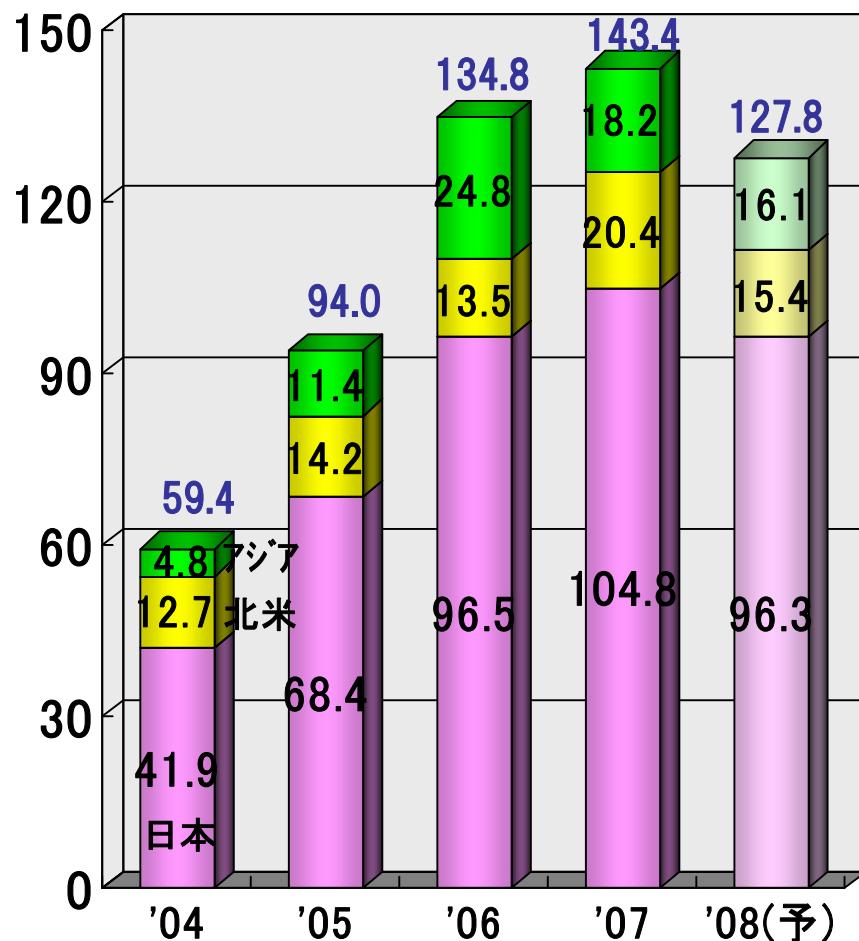
・ 投資その他 59

合 計 + 29 億円

2-7 連結設備投資・減価償却費

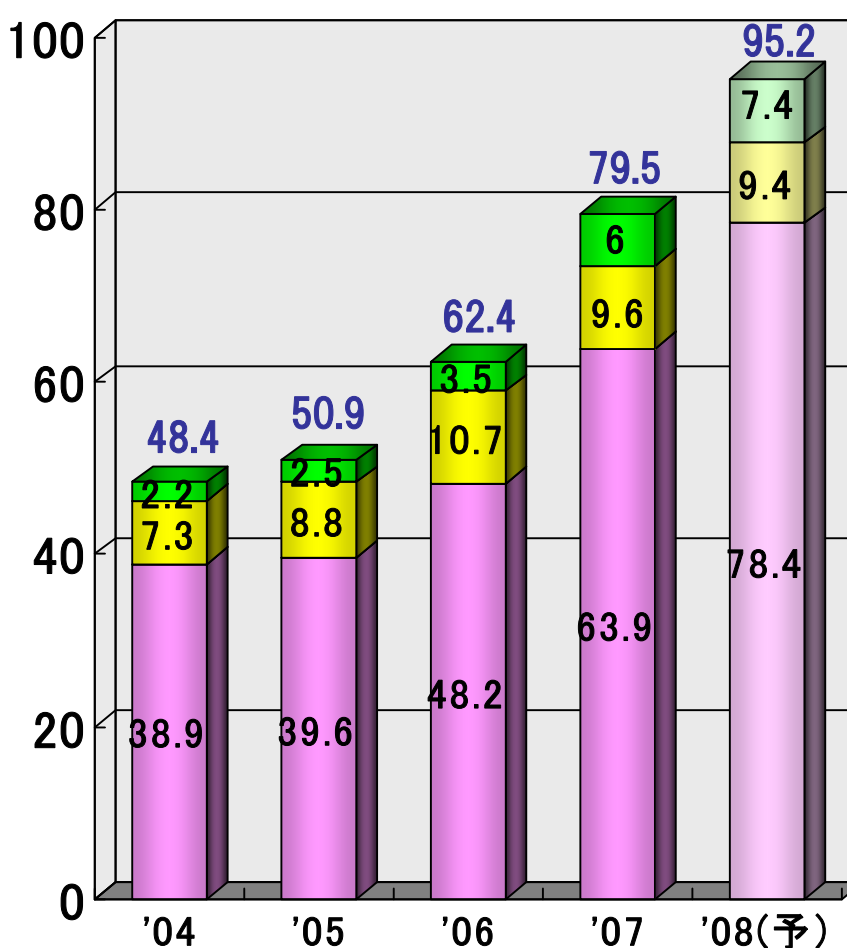
(億円)

《設備投資》



(億円)

《減価償却費》



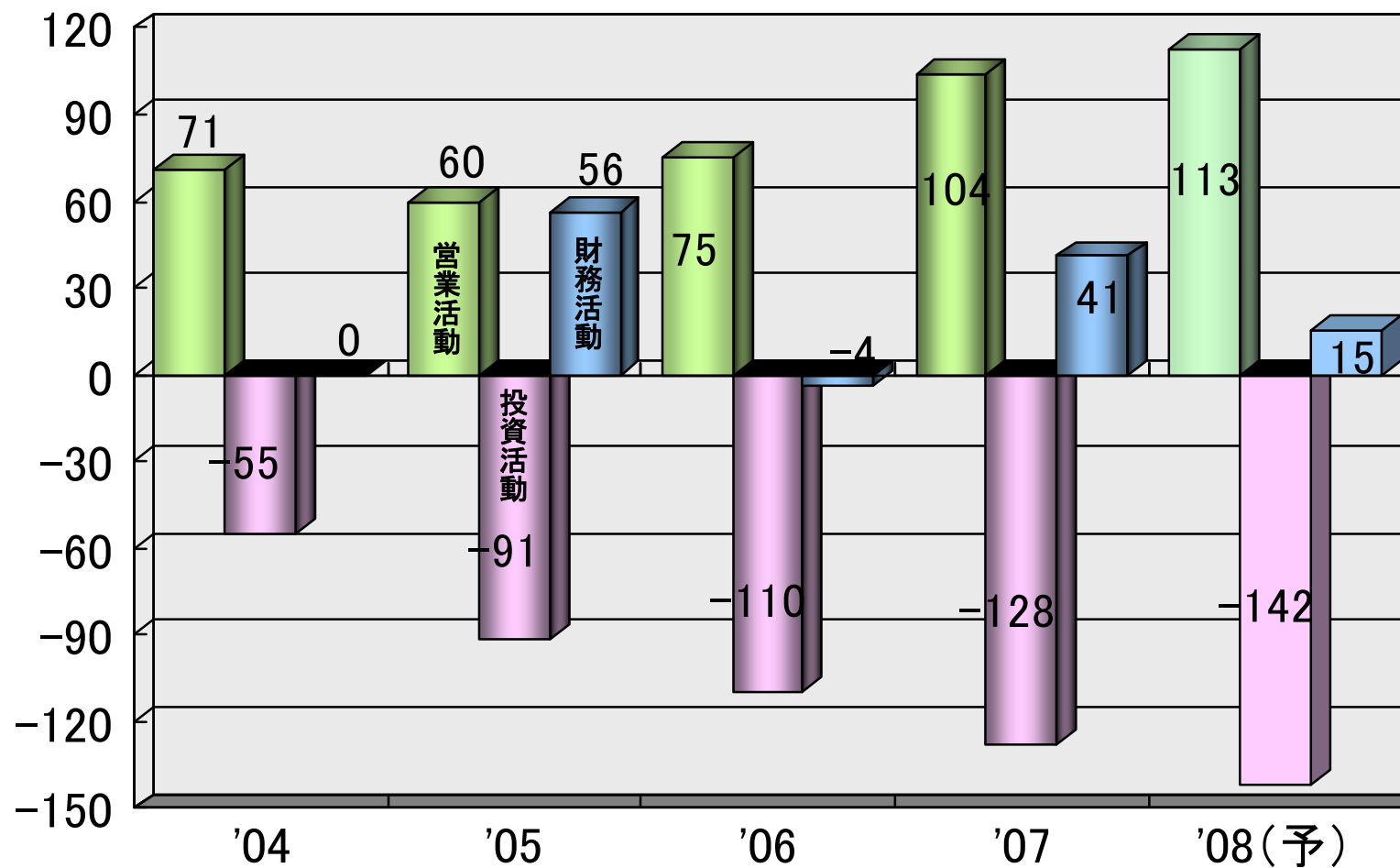
2-8 設備投資の内容

(億円)

拠点		事業		投資金額				売上規模 (2010年)
				'06	'07	'08	計	
日本	東大垣	プレス	オイルパン		10	19	29	30
			ボデー部品	25	3		28	30
	九州	プレス				34	34	30
		樹脂		8			8	10
	養老	金型			4	1	5	10
	北大垣	高精度プレス		1	7	5	13	10
TPMS		9	7	2	18	70		
海外	米国	プレス		7	7	9	23	30
		樹脂		10			10	10
	中国	プレス		25	18	15	58	50
	韓国	制御機器		3	6	1	10	15
総投資額				134	143	127	406	

2-9 連結キャッシュフロー

(億円)

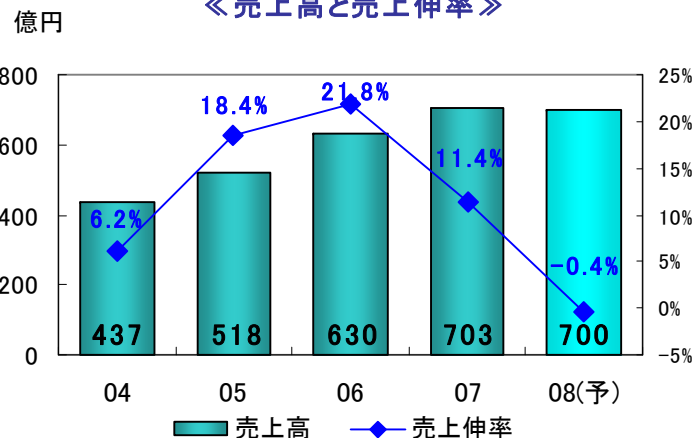


3-1 個別業績実績推移と予想

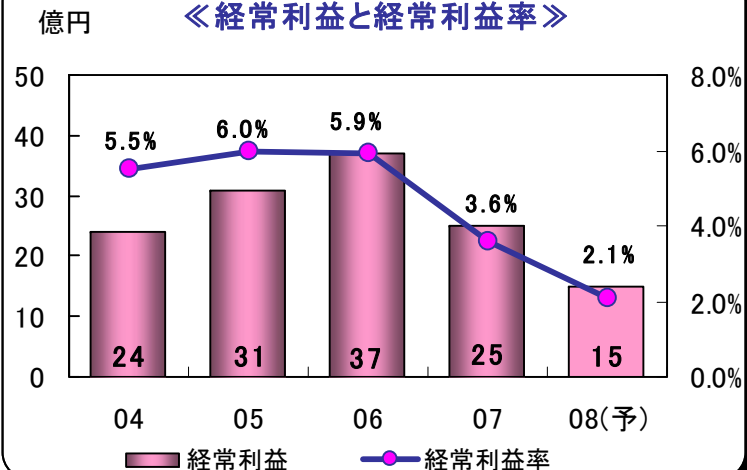
* 過去最高値

	'06年度	'07年度				'08年度		
		08年2月 発表値	実績	前期比		予想	前期比	
				増減	増減率		増減	増減率
売上高	* 63,090	70,000	* 70,302	7,211	+11.4	70,000	△302	△0.4
営業利益	* 2,883	1,600	1,920	△963	△33.4	800	△1,120	△58.3
経常利益	* 3,733	2,000	2,527	△1,205	△32.3	1,500	△1,027	△40.7
当期純利益	2,240	1,150	1,400	△839	△37.5	800	△600	△42.9
配当金(1株当り)	10円	10円	10円	—	—	10円	—	—
経常利益率	5.9%	2.9%	3.6%	△2.3%		2.1%	△1.5%	
ROE	5.8%	2.9%	3.6%	△2.2%		2.2%	△1.4%	
ROA	4.5%	2.2%	2.9%	△1.6%		1.7%	△1.2%	
一株当たり純資産(円)	744	713	682	△61	△8.2	687	5	+0.7

《売上高と売上伸率》



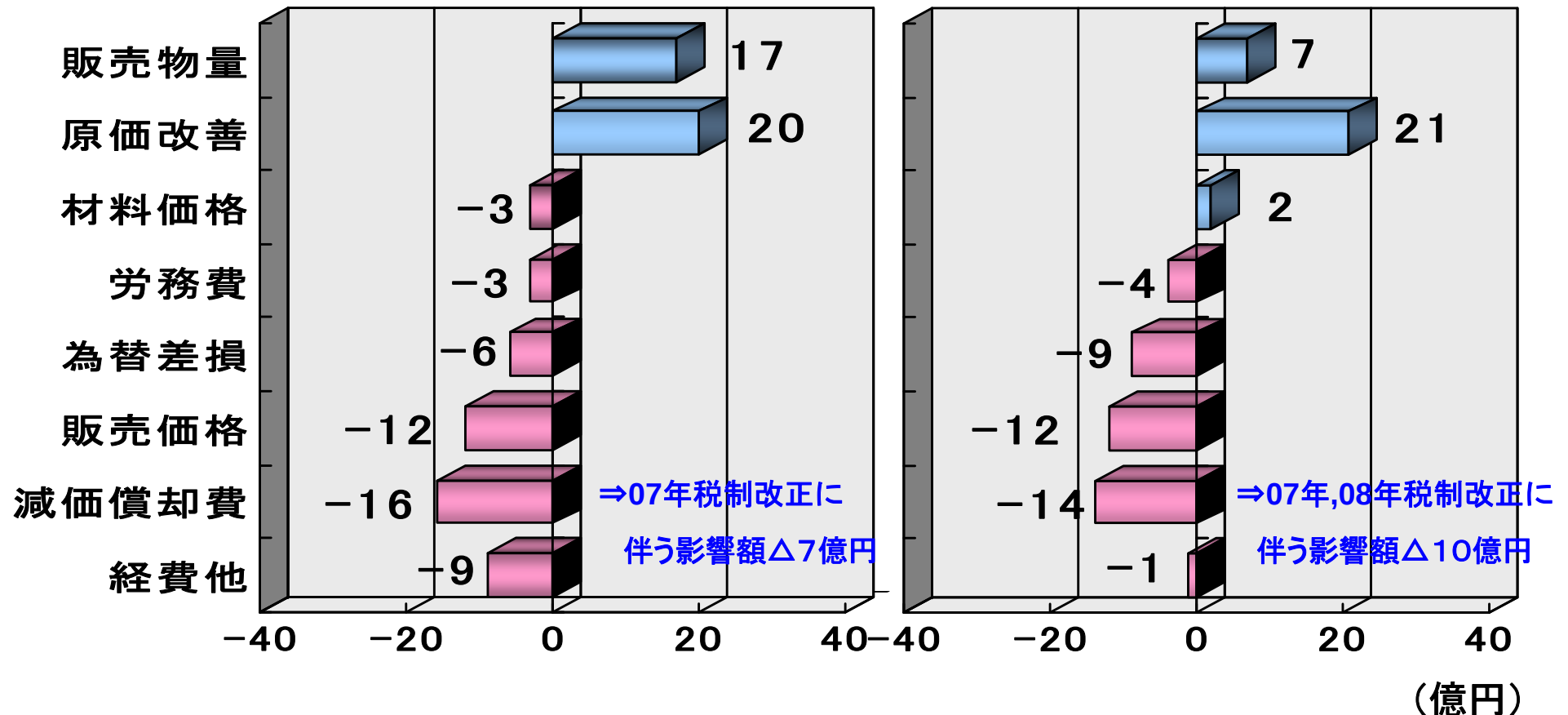
《経常利益と経常利益率》



3-2 個別経常利益増減要因

《07年度 対 06年度》
経常利益 $\Delta 12$ 億円

《08年度予想 対 07年度》
経常利益 $\Delta 10$ 億円



3-3 株主還元

年間配当: 1株につき10円

配当総額: 538百万円

配当性向: 38.5%(個別)

22.9%(連結)



3-4 トピックス

●天津太平洋のプレス工場稼動

- ・2007年5月からカローラのボディ部品の生産・納入を開始
- ・第2期としてプレス・溶接工場増設を2007年6月着工し、2008年6月稼動予定



天津太平洋の第2期工事

●九州工場第2期工事着工

- ・2007年1月からエンジンカバー等の樹脂製品の生産・納入開始
- ・プレス・溶接工場を2007年8月着工し、2008年7月稼動予定

●オイルパン一貫生産ラインの構築

- ・従来のディーゼルエンジン用オイルパン（西大垣工場生産）に加え、トヨタ自動車よりガソリンエンジン用オイルパンを受注
- ・東大垣工場第3工場を増築し、プレス・溶接・塗装の一貫生産ライン新設、2008年内生産移管予定



ガソリンエンジン用オイルパン

4-1 中期経営計画

2015年 長期ビジョン PACIFIC GLOCAL VISION 2015

2030年の創業100周年の一里塚として長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2015」を2004年策定

- ◆基幹事業としての自動車関連事業領域の拡大
- ◆事業構造変革(専門・機能部品、新規事業)

連結売上高	: 1,500億円
連結経常利益率	: 10%
海外比率	: 50%以上

2010年 中期経営計画 OCEAN-10

2010年度を目標とした5年間の中期経営計画「OCEAN-10」を2006年に策定

【OCEAN-10の7大戦略】 【トップクラスのグローバル部品メーカーを目指す】

◆技術と海外

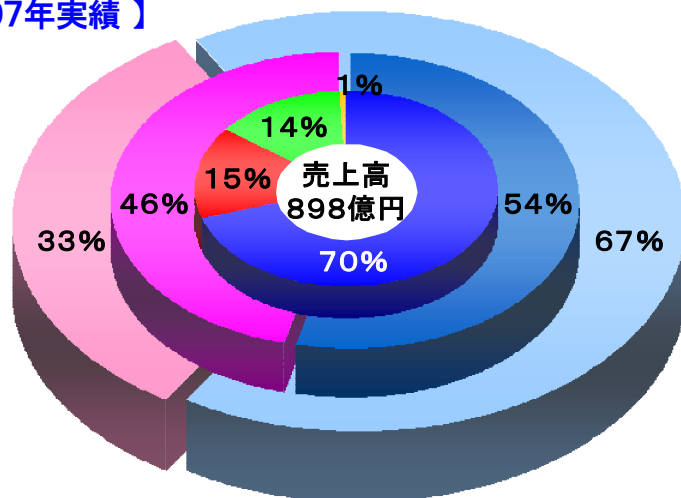
1. 技術ロードマップに基づく、TPMSに続く複合的な商品・生産技術の確立
2. CSR・環境保全に努め、グローバル展開に向けた既存・新規拠点の整備・拡充

◆ものづくりは人づくり

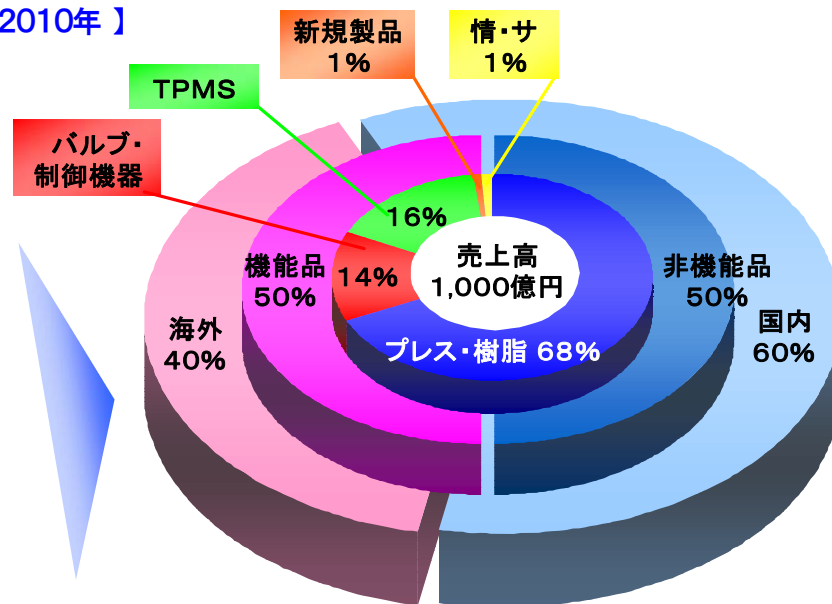
3. 投資・収益基盤を強化するための戦略的コスト活動
4. 超短期生準・垂直立上の実現
5. 顧客の絶対的信頼を勝ち取るための「危険ゼロ」「不良ゼロ」活動
6. 2015年Visionの実現を担うグローバル人財の育成
7. 資本の効率性を考慮した戦略的財務の確立

4-2 OCEAN-10の数値計画(売上高)

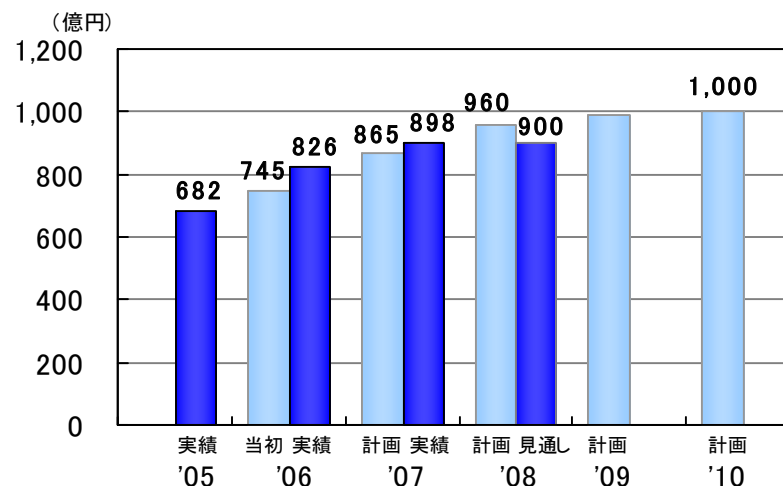
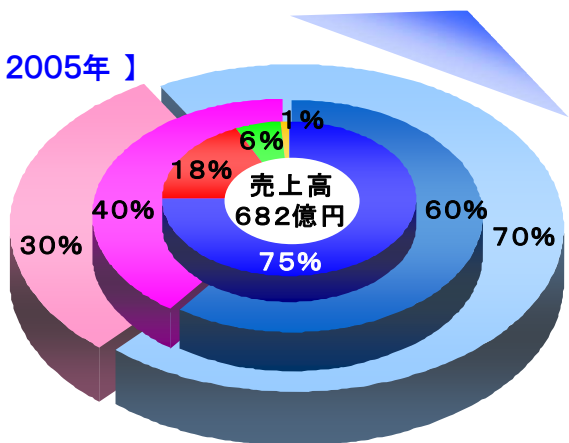
【 2007年実績 】



【 2010年 】

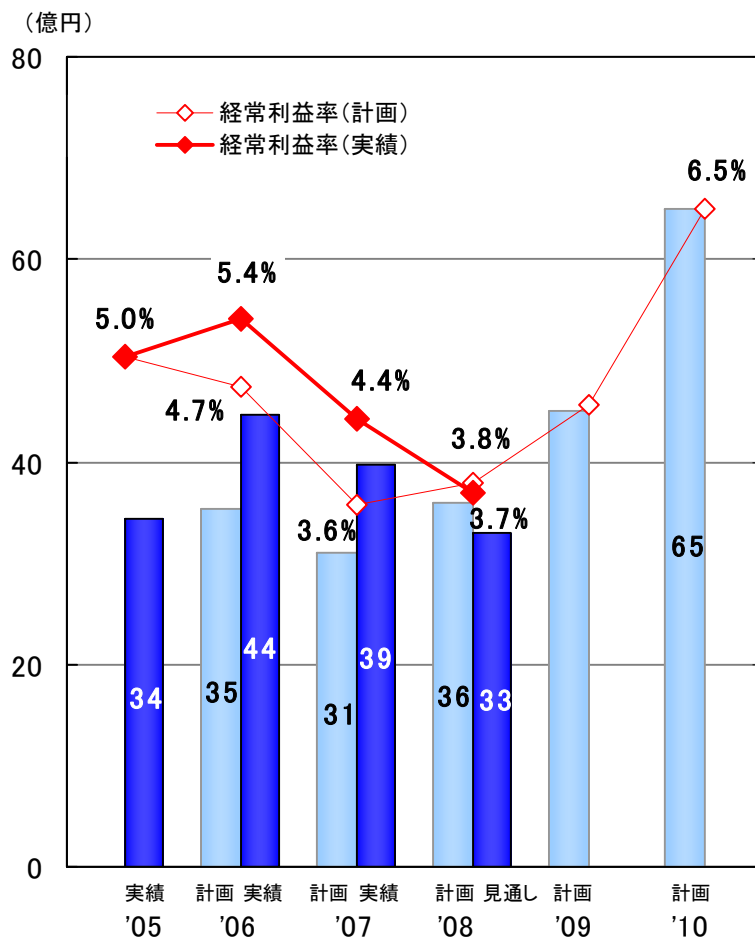


【 2005年 】

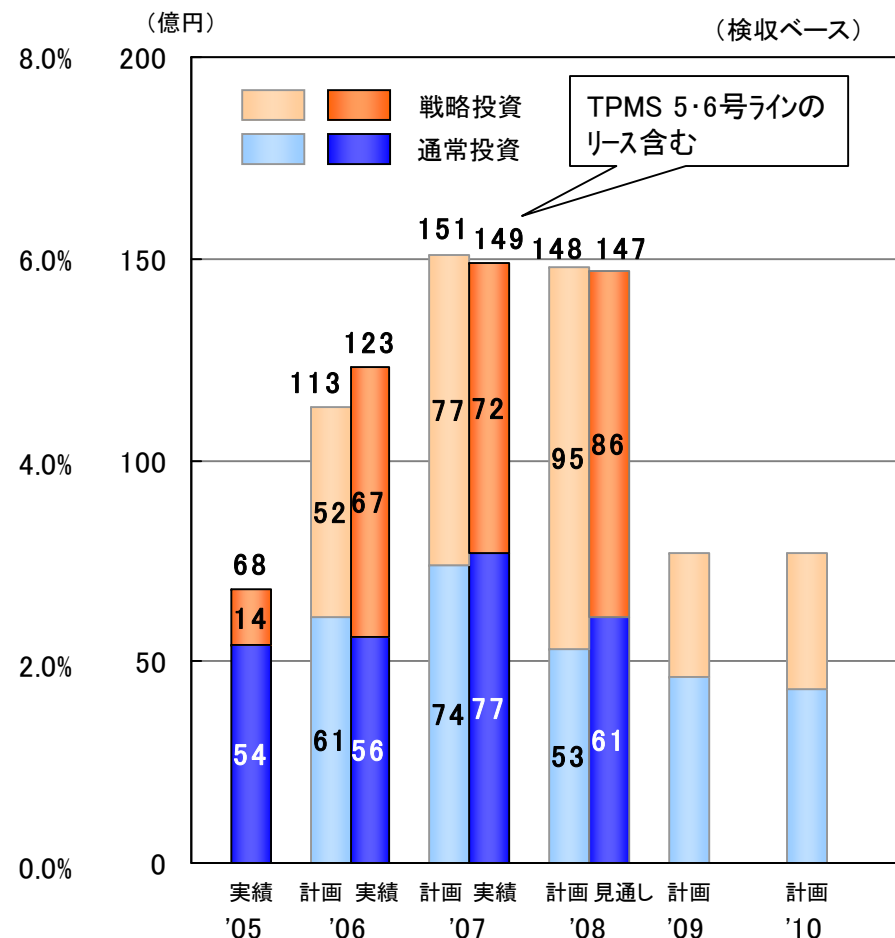


4-3 OCEAN-10の数値計画(利益・投資)

経常利益



設備投資



4-4 技術開発

安全・環境・IT

産学官連携

項 目		概要・ねらい
TPMS	センサー技術 通信技術	●次世代TPMSの開発 ●北米の技術拠点の拡充
高精度プレス	鍛造のプレス化	●高機能品（ギア・スプロケット）への適用 ●トライポロジー・金型技術の向上
ネットシェイプ	鍛造加工	●切削加工の鍛造化 ●材料使用量低減
高圧シール技術	制御弁	●新冷媒（CO2）対応技術 ●燃料電池（H2）対応技術 ●ディーゼルエンジン用コモンレールシステム対応バルブ
環境対応樹脂技術	樹脂・発泡加工	●VOCの対応 塗装・成形技術 ●防音・防振・発泡技術



次世代TPMS
の開発



高精度プレス加工



コモンレールシステム
制御弁



環境に配慮した
新樹脂成形技術

OCEAN-10
2008

合知合力

— 個人戦力から団体戦へ —



太平洋工業株式会社